

糟谷孝幸君に関する本への原稿執筆のお願い

呼びかけ人・賛同人のみなさま。「糟谷孝幸プロジェクト」にご協力いただき、心から感謝いたします。おかげさまで、200名を超える方々が呼びかけ人・賛同人になっていただいています。

このプロジェクトの大きな柱として、糟谷君に関する本の出版を企画しています。糟谷君は、「ぜひ 11・13 に何か佐藤訪米阻止に向けての起爆剤が必要なのだ。犠牲になれというのか。犠牲ではないのだ。それが僕が人間として生きることが可能な唯一の道なのだ。……」という言葉を書いた最後の日記に残して、大阪の地に赴きました。ごく普通の若者であった糟谷君が全共闘運動に加わった後、1969年秋の街頭実力闘争への参加を前にして自問自答を繰り返し、逮捕を覚悟して決断し、行動に身を投じた姿は、あの時代の若者の生き方の象徴だったと思います。

本の出版によって、糟谷君のたたかいと生き方を忘れることなく人びとの記憶にとどめると同時に、この時代のたたかいの意味を問い直し、経験と教訓を若い世代に伝えて、これからの運動に少しでも役立つことができればよいと考えています。本の骨格は、別紙をお読みください。

つきましては、「糟谷孝幸とともにたたかった日々／69年のたたかいに参加した人びとの回想」の部、ないしは「私にとっての糟谷孝幸さん／70年代以降の運動に参加してきた人たちにとって糟谷孝幸とは」の部に、原稿を執筆してくださるようお願いする次第です。糟谷君と同じたたかいの場にいた方はむろんのこと、違った場で1969年のたたかいを共に経験された方には、例えばどのような思いでたたかいに加わったのか、糟谷君の死をどう受け止めたのかといったことをお書きくださればと思います。また、70年代以降に運動に参加された方には、例えばご自身がどのような運動に参加されたのか、そのなかで糟谷君のことがどのように語られていたのかといったことをお書きいただけないでしょうか。もちろん、こうした例示に縛られずに、自由にお書きいただいても構いません。

いろいろお忙しいとは思いますが、どうかよろしくお願ひいたします。

執筆要項

*原稿締め切り：2020年6月末日

*字数：1000～2000字（「糟谷孝幸とともにたたかった日々」の部）
800～1200字（「私にとっての糟谷孝幸さん」の部）

*タイトル：ご自分でお付けください

*プロフィール：簡単に記してください（約200字）

*原稿送付先：郵送の場合

〒700-0971 岡山市野田5-8-11 ほっと企画気付 糟谷プロジェクト
メールの場合、下記アドレスまでお願いします。

恐れ入りますが、4月末日までに原稿執筆の諾否を以下までご一報くだされば幸いです。

山田雅美：m-yamada@po1.oninet.ne.jp

白川真澄：JZI03162@nifty.ne.jp

2020年4月

「糟谷プロジェクト」事務局

糟谷本への原稿をお寄せください！

新型コロナウイルスによる新型肺炎で大変な事態になっていますが、いかがお過ごしでしょうか？

これまでの糟谷プロジェクトに対するみなさんの様々なご協力、ありがとうございます。呼びかけ人・賛同人・郵便振込あわせて約 300 人、基金カンパ約 210 万円をお寄せいただきました。

2020 年 1 月 13 日には「権力犯罪を許さない 忘れない、糟谷孝幸君追悼 50 周年集会」を大阪で開催することができました。集会は予想を超える 140 名の多彩な人々の参加で感動的な集会となりました。糟谷君追悼の思いと「あの時代に誠実に生きた若者の思いを次の世代に語り継いでいこう」と参加者一同が確認し合いました。集会の様子の一部は、ホームページ (kasuya1969.com) をご覧下さい。

さて、いよいよ糟谷君の本出版に向けて、一層のご協力をよろしくお願ひします。

■ 糟谷本への原稿執筆にご協力ください。

糟谷本の内容骨子と原稿執筆のお願いを同封しています。趣旨をご覧の上、ぜひともご協力よろしくお願ひします。なお、恐れ入りますが、4 月末日までに原稿執筆の諾否をご一報くだされば幸いです。原稿は、5 月末日中間集約、6 月末最終締め切りです。

すでに裁判闘争の弁護士最終弁論や被告人意見陳述の整理や加古川東高の同窓生からの原稿も寄せられています。

■ 引き続き本発行に向けて、糟谷基金へのご協力よろしくお願ひします。

恐れ入りますが、賛同金振り込みがまだの方は、下記の銀行口座、郵便口座、または郵便振込用紙にて、よろしくお願ひします。

なお、これまで振り込んでいただいた方で、領収証が必要な方はご連絡ください。

糟
谷
基
金
振
込
先

<銀行振込の場合> みずほ銀行岡山支店 (店番号 521)

口座番号：3031882 口座名：糟谷プロジェクト

<郵便局からの振込の場合> 記号 15400 番号 39802021

他金融機関からの場合 【店名】五四八 【店番】548

【預金種目】普通預金 【口座番号】39802022

<郵便振替用紙で振込みの場合> 名義：内藤秀之 口座番号：01260-2-34985

1969 糟谷孝幸 50 周年プロジェクト：内藤 秀之 (080-1926-6983)

〒708-1321 岡山県勝田郡奈義町宮内 124

事務局連絡先 〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 ほっと企画気付

電話 086-242-5220 (090-9410-6488 山田雅美) FAX 086-244-7724

E-mail:m-yamada@po1.oninet.ne.jp

糟谷孝幸君に関する本の発行にむけて

1.13 糟谷孝幸君追悼 50 周年集会多くの方にご参加いただきありがとうございました。
いよいよ糟谷本作成に向け、作業を加速していきますので、ご協力よろしくお願ひします。
できるだけ幅広くかつ多様な人々の書いた文が反映できる形にしたいと思ひます。

糟谷本の概要案

タイトル：「語り継ぐ 1969 — 糟谷孝幸君追悼 50 周年記念」（仮題）

参考：高橋和巳『明日への葬列』（1970 年）

10・8 山崎博昭プロジェクト『かつて 10・8 羽田闘争があった』（2017）

※正式には原稿が集まった段階で決める

版型： A5 版 500 頁を超えない程度を想定

定価： 2,000 円＋税

発行部数： 1,000 冊

出版社： 社会評論社（代表：松田健二、岡山大OB）

発行： 2020 年 11 月予定

内容骨子

0 グラビアページ

1 序文——糟谷孝幸とともに生きた半世紀（内藤秀之）

2 1969 年から半世紀、この先へ／69 年のたたかひの歴史的な意味とこれから
若い世代へのメッセージ（3,000 字を基本にオーバーもありうる）

3 糟谷孝幸とともにたたかった日々／69 年のたたかひに参加した人びとの回想
（1,000 ～ 2,000 字）

* 69 年 11.13 闘争をともにたたかった人

* 69 年の闘争をたたかった人／いろいろな党派、無党派の活動家

4 私にとっての糟谷孝幸さん／70 年代以降の運動に参加してきた人にとって糟谷孝幸とは
（800 ～ 1,200 字）

5 裁判闘争、付審判審理の記録／弁護士最終弁論・被告の意見陳述（抄）
荒木レポート＆年表／佐藤医師へのインタビュー

6 冊子や資料、機関紙などからの転載など…

7 当時の報道資料

8 賛同人のコメント・賛同人の氏名一覧を掲載

9 あとがき